

# 渋沢翁とお札

## 渋沢栄一、新一万円札の顔に

2019年4月9日、2024年度上期に一新される新一万円札の肖像に、渋沢栄一が決まったことが発表されました。新しいお札の発行は2004年以来、20年ぶりです。一万円札の肖像の変更は、1984年に聖徳太子から福沢諭吉になって以来となります。



一万円券(表)  
画像提供国立印刷局

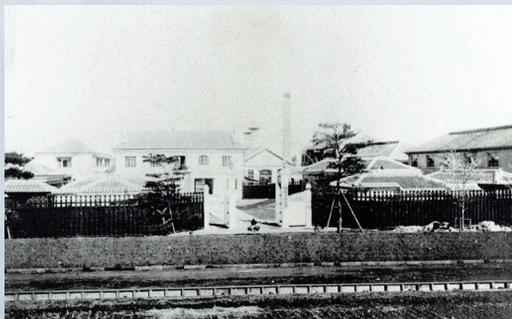


一万円券(裏)  
画像提供国立印刷局

## 王子から国産紙幣が誕生

1871(明治4)年、大蔵省紙幣司(現国立印刷局)が創設され、渋沢栄一は初代紙幣頭(長官)に就任します。当時の紙幣は、印刷技術が未熟だったため、ドイツやアメリカに製造を依頼していましたが、用紙に耐久性がないという欠陥やコスト高などもあり、明治政府は国産化へと方針転換します。

1875(明治8)年、印刷局の製紙部門として抄紙局(現国立印刷局王子工場)が設立。まずは製造場所を確保するため、同年に現在の東京都北区王子で操業を開始したばかりの抄紙会社(現王子ホールディングスと日本製紙)敷地の一角を借り、手すき工場を設置。その後抄紙会社の隣接地を買い取り、独自の工場建設に取り掛かり、翌1876(明治9)年2月、木造2階建ての製紙工場が落成。そして1877(明治10)年、国産第一号の近代的な紙幣が誕生。その後現在まで国立印刷局が製造しています。



王子に落成した製紙工場  
画像提供国立印刷局 お札と切手の博物館



国立銀行紙幣(新券)壹円 表  
画像提供国立印刷局 お札と切手の博物館

## Column

### かつて新千円札に採用寸前だった!?

かつて渋沢栄一は、1963年発行の千円札(伊藤博文の肖像)の最終候補まで残っていましたが、当時は偽造防止のために複雑な描写が必要とされており、「髭がないと偽造されやすい」という理由などから落選してしまっただけか……